



令和8年6月3日(水)
第3号
調布市立第四中学校
校長 佐藤 政彦

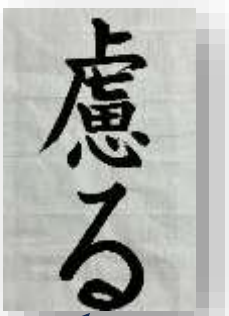
HP: <http://www.chofu-schools.jp/chofu4/>

慮る心が広がる学校に

校長 佐藤 政彦

東京都教育委員会は、6月と11月を「ふれあい月間」として定めており、調布市では、2月も同様に取組を実施しています。主な目的は「いじめ、自殺、暴力行為等の問題行動、不登校等の早期発見・早期対応、未然防止等につながる具体的な取組を実施する」となっています。友達との関わり方や相手への接し方について、改めて考える大切な機会です。

先日の全校朝礼では、「慮（おもんぱか）る」という言葉を紹介しました。「慮る」とは、相手の立場や気持ちを、この先のことまで想像して考える・思いやる、という意味があります。例えば、元気がない友達に「どうしたの?」と声をかけること。相手が嫌な気持ちにならないように言葉を選ぶこと。みんなが気持ちよく過ごせるように、自分からあいさつをすること。こうした行動一つ一つに「慮る」心が込められています。



兒玉先生が書いてくれました。

人は、自分が見えている景色の中だけで生活しているわけではありません。それぞれ異なる景色の中で、悩みや不安を抱えたり、がんばったりしながら毎日を過ごしています。だからこそ、相手の立場に立って「自分だったらどう感じるだろう」と一歩立ち止まって考えることが、とても大切です。

相手を思いやる言葉や行動は、学校の空気を変えます。きつい言葉は心を曇らせます。温かな言葉は、人の心を明るくし、「慮る」心が広がる学校は、安心できる学校になります。そして、互いを認め合える学校は、自然と熱をもち“温かくさわやかな学校”へと成長していきます。

6月の「ふれあい月間」をきっかけに、一人一人が「慮る」という言葉を心に置き、相手を大切にしたい行動を増やしていきましょう。まずは、「+1（プラスワン）の声掛け」を意識して、みんなで、笑顔と優しさあふれる学校をつくっていきましょう。

— 東京都「居心地向上プロジェクト」 —

本プロジェクトも2年目を迎え、様々な取組を進めてきました。そのひとつとして、多くの要望があった昼休みの屋上開放を実施しました。当日は、屋上にブルーシートを敷き、それぞれに会話を楽しんだり寝そべったりして、ゆったり・まったりした時間を過ごしていました。



改築工事で校庭が使えない中で、新たな居場所づくりは、四中の課題です。学校外の施設の利用は難しいですが、限られた条件の中で、今やれることを居心地メンバーを中心に検討しています。今後は、多目的室や図書室の新たな利用方法について、検討を進めていきたいと考えています。

生徒総会～主権者への第一歩～

5/12（火）に、生徒総会が行われました。生徒総会は、学校生活を自分たちの手でよりよいものにしていくための機会の一つです。学校の中で“民主主義”を体験できる機会でもあります。2015年に選挙権年齢が18歳に引き下げられてから約10年ですが、皆さんもあと数年で“主権者”となります。居心地向上プロジェクトも同様の機会ですが、課題を見つけ、話し合い、みんなで決めていく。このプロセスを経験することで、未来の主権者としての一歩を踏み出しているのです😊ぜひ、ご家庭でも、学校生活や社会のルールについて、話し合ってみてくださいね♪



あいさつ運動～小中の架け橋～

6/1（月）から6/5（金）の5日間、若葉小学校とのあいさつ運動を各学校の正門付近で行っています。小学校の児童と、中学校からは生徒会役員、学級委員、各専門委員長に加えて、ボランティアの生徒（クラス単位で参加している学級もありました）と一緒に挨拶運動をしています。保護者の方々にも総勢30名ほど参加いただいております。

あいさつは心をつなぐ魔法の言葉です。朝礼での校長講話にもあった通り「相手を慮る」、まさに思いやりの言葉です。ぜひ、あいさつがもっと飛び交う“さわやかで熱い四中”にしていきましょう



教育実習生との出会い～未来の創り手～

5/11（月）から5/29（金）までの3週間、教育実習生が5名来ていました。数学科のさん、保健体育科のさん、そして養護のさんの他一日体験のみの学生が2名でした。授業やクラスでの触れ合いなど、普段の先生方とは違ったものを感じる生徒も多かったと思います。ともに過ごしたこの3週間、生徒の皆さんの何気ない一言、表情がきっと彼らの大きな支えになっていたに違いありません♡改めて、“さわやかで熱い四中”の皆さんに感謝です。ありがとうございます。皆さんと同じように大切な未来の創り手です。またどこかで会えたら嬉しいですね(^_-)-☆



『幸せのクローバー🍀見つけ“隊”』

- ・ 去年の夏から始まった工事ですが、変化が本当に激しいです。一週間に一度写真を撮っていますが、その早さに驚きです。変わりゆく景観を楽しみながら生活するのもあり？！
- ・ もうすぐジメジメ、嫌な梅雨の時期😓そんな時期でもこういった飾り↓があるだけで心がハッピーになりますね。先生のお手製です♡
- ・ 江戸時代、雨の日に狭い路地ですれ違う際、傘のしずくが相手にかからないように、相手と反対側にお互い傘を傾け合った気配り。「傘かしげ」と言います。まさに校長先生の“慮る”ですね。これからも受け継いでいきたい素敵な文化ですね😊



折り紙で作られた
かわいい傘